

【参考資料2】 各委員から提出された提案のとりまとめ

No	内 容	目 的	課 題	備 考	実施主体(団体)	実施地域
1	広島市瀬野福祉センターを活用し、地域住民の体力づくりとして専門講師による運動(筋力アップ、バランス能力、姿勢を保つ)を行う。 また、認知症予防の講習や絵手紙教室等を行う。	・広島市瀬野福祉センターを有効活用し、高齢者が住み慣れた町で元気に暮らすこと。 ・週1回は、今日行く場所があるという、心の居場所を作ること。	健康運動指導士の指導がいるため、毎週の講師料がかかり、継続するためには行政支援が必要となる。		瀬野学区策定委員会	瀬野地区
2	児童・生徒(学校・家庭)・大人(地域)で良い生活習慣(あいさつ、清掃)(時間を守る)を目に見える形にする。 ①ステッカー ②のぼり ③横断幕	安芸区の子どもから大人まで互いに挨拶を交わし、町をきれいに清掃、そして決められたルール・時間の守れる安芸区民となり、犯罪のおこらないまちづくりを目指す。	見える形にするためには、何かを作ることになり、経費がかかること。		子ども可視化実行委員会	安芸区内へ拡大
3	東広島市、府中町、海田町と連携を図り、機関車を走らせるイベントを行う。	全国の鉄道ファンや、今まで見たことのない若い世代の人達に鉄道の素晴らしさと昔の歴史を伝えること。	機関車を走らせるということは各関係市町村とJRの協力が大きく必要となる。併せて費用もかかること。		瀬野学区連合町内会	安芸区
4	船越の魅力が詰まった大イベントを開催する。 商工業者や、地域で活躍する人、また、できる人が中心に船越の活性化を図る。牡蠣業者も多くあり、東部市場を利用して「カキまつり」など集客型イベントを開催する。	地元にある商店や工場等、地域住民には知られていない事が多くある。船越の産業や魅力を伝える機会を設け、「地元愛」を大切にできる人づくりを目的とする。	実際に汗をかける人材を集める事。各団体との調整。ある程度の予算付けができる事がスタートのカギになる。		商工会、法人会、漁業組合、その他地域組織(新団体設立)	船越地区
5	我が町じゃけん！地域の応援隊プロジェクト会議	地域で積極的に活動している市民団体・ボランティアが横のつながりを作るとともに、地域を元気にする取組を企画し、既存組織にとらわれず、若い世代を交えた地域プロジェクトを創出することで、にぎわいのある元気なまちづくりを目指す。	既存組織(自治会・子ども会・地区社協)枠に対しての行政支援だけでなく、枠を超えた行政支援、規制緩和が必要		矢野の家	安芸区全体
6	食でつながる地域づくり「朝ごはん会」の開催 各小学校区で各種地域団体(民生児童委員・地区社協・子ども会・任意団体・ボランティア)が連携し、登校前の児童に対し朝ごはんを提供し、地域のつながりをつくる。	既に県で実施されている取組であるが、各団体と連携し、高齢者の力を借りて取り組むことでモデルとなり、地域活性化を目指す。 子どもの現状・抱える問題を知る機会を持つことで、顔のわかる地域づくり、地域共生社会の実現を目指す。	小学校を利用するにあたり、小学校の理解と協力が必須なため、運営者と共に行政からの積極的なアプローチが必要となる。		矢野の家	安芸区全体
7	安芸市民病院では、現在予約制により、整形外科が毎週木曜日の14:00～17:30まで診察されておりますが、他の診療科目と同様に月曜日～土曜日までにして、安芸地域の拠点病院として取り組んでほしい。	地域住民の福祉向上につながる	行政と医師会との調整が必要ではないか。		安芸区身体障害者福祉協会	畑賀地区
8	子ども会活動をどの様に活発化し、参加してもらい、加入者を増やすか。子どもの思い出づくり等、30～40年前の活動のあり方を役員一同が話し合い、他地区の現状も一考したい。	町内各地区において、活動団体が無くなっている現状を復活できるよう会議を重ねること。	現在、子ども会活動はなく、町内会各地区にて行事の際は実行委員会方式をとって、活動している様子。(各大会スポーツはなし。)		北鴻治町内会	北鴻治地区
9	育成会役員、町内会役員、PTA役員等により、子育てによる想い出づくり。楽しい子ども時期のあり方について共通の問題として考える。	子ども達に楽しい時代を送らせる。	育成会のありかた		北鴻治町内会	
10	老人世帯等で庭木、清掃等で業者等に頼みにくい方で困っている人に、安い費用で手助けする。	町内会会員相互の健全な生活を営むため、福祉の充実を図ることを目的とする。「地域のきずなづくり」の一環。			「まかせんさい権現」(中野四丁目権現町内会 会長 大岡和夫)	権現町内会(中野四丁目)
11	「ふるさとの魅力活用」獅子舞の実施	当地区の矢口神社の伝統ある獅子舞を継承し、永く保存する。			津村獅子舞保存会(代表 今井修三)	老人会、神社等の祭りなど要望があったところに行く
12	瀬野地区内においてウォークラリーを実施する。(距離約5Km) ・地域において参加希望者を募集(老若男女問わず)点数により順位を決める。 ・所要時間設定(誤差により点数減点) ・ラリー途中色々な問題・ゲーム等実施し、正解にて点数加算 ・郷土史会と組み、問題を瀬野の歴史散歩マップに合わせた問題を作る。 ・終わった後軽食(うどん)を提供	・瀬野の歴史をラリーしながら学ぶ ・子どもから高齢者まで幅広く参加・親睦を図れる ・歩くことで健康にも良い	・鉄道、国道が通っており交通事故対策(交通推進隊に手伝い依頼) ・ウォークラリーのルート設定が難題 ・天候次第	ウォークラリーは、既の実施されており、今回の提案は瀬野郷土史会と連携し問題をつくり、歴史を学びながらラリーを実施 最終目標は、安芸区8地区それぞれ実施し、各地区5位までに入ったチームが集まり各地区持ち回り実施し競う 安芸区での競技に昇格させる。(問題を含め、競技内容は検討し協議する)	瀬野体協(協賛 民生委員、小中学校PTA、公民館、その他)	瀬野地区

【参考資料2】 各委員から提出された提案のとりまとめ

No	内 容	目 的	課 題	備 考	実施主体(団体)	実施地域
13	平成13年度から開催 小学校3年生児童と地域のボランティアが協働でパンジーを育成 9月に種まき。10月に苗をポットに移植。2月にプランターなど移植 (畑賀地区民児協共催)	① 福祉教育の一環。一連の作業を協働で行うことの楽しさがある。 ② 6年生のお祝いに。一人暮らし高齢者へ贈呈。卒業式や入学式の会場を花で盛り上げる。福祉施設へも贈呈。残りの苗は、畑賀福祉まつりのバザーに出品して次年度の花の資材に充当	ボランティアの高齢化 一人暮らし高齢者の増加(夫婦2人暮らし高齢者が急増している。)	過去「区の魅力と活力向上推進事業」の補助金を利用した事業	ボランティアグループ 「パンジー」畑賀地区社会福祉協議会	畑賀学区
14	三世交代流事業「焼き芋カフェ」 H30年初年度 毎年開催事業としている。 ドラム缶を使用して、火を熾すことを子どもたちに体験させる。焼き芋の準備(芋を洗う⇒新聞紙に包む⇒水につける⇒アルミ箔で包む)をしたら、火の中に入れて焼く。参加者全員で実施。焼き芋が出来上がったら一緒に食する。	三世代が同じ体験をすることは、最近では珍しくその喜びは大きい。 また、若い親子での参加が多くみられて、共通の話題で盛り上がったと情報をいただいた。(この事業は畑賀青少協が共催)	畑賀学区には、中学校が無く小学校児童の行事との調整が困難 (本年度「けん玉大会」を開催したが、児童の行事と競合したため児童の参加が見られなかった。)	“まるごと元気”地域コミュニティ活性化補助を活用している。	はたか健康塾実行委員会 「畑賀地区社会福祉協議会」	畑賀地区
15	① 毎月1回実施(参加者の希望に基づくものや季節の料理、冷蔵庫の中にあるものを使っての料理) ② 2月開催の「畑賀福祉まつり」にとりのから揚げ、ポテトフライなどバザーに出品 ③ 会のPR ④ 参加費 月 1,000円	・もし、自分の配偶者が病気などしたとき、あなたは食事の準備や配偶者に食の提供ができるように料理を身につけること。 ・仲間や地域社会に参加すること。	参加者を募集しても参加が少ない。 仲間がすでに出来上がっているため、新しい方の参加が難しい。		男性料理教室「游食の会」 「畑賀地区社会福祉協議会」	なし 希望者誰でも
16	・情報交換 ・読み聞かせ ・地域子育て支援センターから年に1回子どもを中心の親子遊びを指導してもらっている。 ・歌のコンサートを育児サークル「ひよクラブ」と共催	子育て中の保護者やその子どもが同じような仲間と交流できる憩いの場を提供。子育ての悩みを相談できる保護者どうしの仲間づくりと子どもの遊び場づくりを目的とする。	「わいわい!!はたか」は誰もが参加できる場所として立ち上げたが、高齢者の参加が多く会場が狭いため、当初予定していた「こどもコーナー」ができなくなった。(高齢者と交流)		子育てサロンさくらんぼ 「畑賀地区社会福祉協議会」	畑賀学区
17	空家をお借りして地域の男性が集まることのできる場所づくりに取り組む。 地域の高齢者男性が集まって、色々な話ができるようなサロンを開催する。日頃はコーヒー、お茶、時にはビール。	点在する空家の活用を図る。	空家を、無料で借用出来るか。		中野地区社会福祉協議会【まちづくり委員会】	権現・津村地区
18	中野地区における社会資源を考える会を発足して、第一段階として、認知症サポーター養成講座のステップ講座を開催する。	地域に貢献できる人材を育成し、必要な社会資源開発を目指す。	地区の温度差の解消をどうするか。		連合町内会・民児協・社協・老人クラブ・包括支援センター	中野地区
19	障害者及び高齢者等への生活支援サービス提供の取組	既存の住民主体型生活支援サービスはもちろんの事、高齢化が一気に進んでいるのでこれに対するサービスの提供も準備しておく必要性を感じている。独居の高齢者から、転落が怖いので電球取替、高所の庭木剪定をしてくれる制度はないかとの相談が少なからずあるので、その要望に応えるため。	別居の家族が来れる人はその家族に依頼、金銭的に余裕がある人はシルバー人材センター等へ依頼するのが当然だという理論も成り立つので社協で受け持つ範囲の設定が非常に難しくなると思われる。		中野東学区社会福祉協議会	中野東学区全域
20	毎年12月に、阿戸中学校の生徒と地域の高齢者が、地元で採れた材料でしめ飾りを作る。熱心な指導と真剣な取組で作ったしめ飾りが、正月に各家庭の玄関に取り付けられます。	共同でしめ飾りを作りながら会話をし、世代間の交流を深める。	しめ飾り作りの指導者が高齢化し、後継者の養成が急がれる。		阿戸地区社会福祉協議会	阿戸地区
21	町内にある集会所、毎月1回(第4水)一番にコミュニティを図るため、ワンコインカフェとして、健康麻雀、軽スポーツ、料理教室、囲碁、将棋をできるように、住民同士の交流を進めたい。	高齢化している町内会を、いかに楽しく過せるか、心身共に健康であることが目的。	町内会の地形が斜面であることが、また、男性の参加者が少ないこと。 世話人が女性ばかりのためかとも思う。		町内会(中野東学区)	平原上第二町内会
22	日々の生活の中で、困りごと等において、行動(何ら)の一步が踏み出せずに悶々と悩める方(個人)あるいは、一家庭へのよろず屋(アドバイザー)として知恵(相談)を持って、解消への糸口として支援(補助活動)を対象者への提供(補完)を果たす。	対象者への入口(糸口)を探して、日々の生活ストレスを改善する。指南(助言)役を果たすことで、手詰まり状況から先(前)への希望を抱ける「よろず支援」を図り生活改善につなげる。	種々の作業が自ら熟し、尚且つプロを要する場合でも依頼先照会等の技術的判断の提供ができる地域内人材により協同労働も視野に活動。		地区の「よろず屋」運営委員会	瀬野学区

【参考資料2】 各委員から提出された提案のとりまとめ

No	内 容	目 的	課 題	備 考	実施主体(団体)	実施地域
23	防災で「自助・共助・協働」につながる出会いの場づくりとして気軽に話して仲間意識が生まれるとともに絆が出来れば、災害時には大きな力となって復旧・復興に期待が持てる。	地域における「防災意識の高揚と知識を学べる場」を提供する。	広島市危機管理事業としての「防災士養成者の地区への活動が、問われている」ことへの一助として大いに期待が持てると思われます。運営に際しては、行政側のそれ相応の後押しが不可欠となります。		地区の「防災出前サロン」運営委員会	瀬野学区 or 安芸区
24	瀬野川(海田町)からの入水口の拡幅による増水と池内に沈殿しているヘドロを除去することにより清浄化を図る。その後、釣り堀、貝掘り等のにぎわいづくり	海田、矢野に誇る13旅団前の三角池を有効活用し、天然魚の飼育と観賞	三行政管轄になる(国、市、町のコラボ)		矢野町町内会連合会	矢野地区、海田地区
25	現在、雑草が茂っている住宅地跡に桜、はなみずきを植え遊歩道とする。	矢野川下流の緑地化と桜並木と散策道(新明和田丸街道)	定期的にメンテする組織づくり		矢野町町内会連合会	矢野東一丁目(旧田丸町町営住宅跡)
26	ふるさと阿戸 ほたるの里づくり【新規】 熊野川周辺の環境保護やホタルの飼育に努めるとともに、毎年6月初旬に「ふるさと阿戸 竹灯り&ほたる祭り」を開催する。 ・熊野川周辺の環境保護 清掃活動、児童による水生動物の学習会 ・ホタルの飼育 飼育場(瀬野川ホタル会)の運営支援、児童による飼育活動、町民を対象にしたホタル講座(公民館) ・竹灯り&ほたる祭り ホタルの鑑賞会、竹灯りによるライトアップ、コンサートやグルメによるにぎわいづくり	阿戸町を流れる熊野川周辺では、毎年多くのホタルを鑑賞することができる。このホタルを地域資源としてとらえ、町民はもとより近郊の方々にも阿戸の自然の美しさを発信し、やすらぎと交流のまちづくりを推進する。	ほたる祭りは、特に町外の方々から好評であるが、駐車場や人手の確保など課題も多い。今後は、市補助金の活用なども視野に入れ、内容の充実を検討したい。		連合町内会、各種地域団体、小中学校、公民館等	阿戸地区
27	郷土芸能を通した多世代交流事業【新規】 幅広い世代が参加して継承活動を行う。また、「阿戸盆踊り大会」では、皆で盆踊りを踊るとともに、子どもから大人まで一緒になって楽しめるイベントを実施し、多世代交流を促進する。 阿戸盆踊りの継承 「阿戸盆踊り保存会」による盆踊り講習会の実施 児童、生徒の継承活動(小中合同運動会で阿戸踊りを披露) 盆踊り大会での多世代交流 交流イベント(ゲーム、カラオケ大会、ステージ発表等) みんなで踊ろう阿戸踊り	阿戸町に古くから伝わる「阿戸盆踊り」の継承活動を通して多世代交流を推進し、地域を愛する心を育むとともに世代を超えたコミュニティの活性化を図る。	郷土の盆踊りへの関心を高め、子どもやその親世代が楽しんで参加できるよう、講習会やイベントを工夫することが重要である。		阿戸盆踊り大会実行委員会(連合町内会、各種地域団体等)、小中学校	阿戸地区
28	旧阿戸保育園を活用したにぎわいの拠点づくり【継続】 地域の連携機能の充実 高齢者交流サロンや女性会のバザー等の開催 放課後等における児童、生徒の学習の場、交流の場 住民交流による花壇作り 情報発信機能の強化 道路利用者等の休憩スペースの設置 阿戸の自然、歴史、特産品を紹介するコーナーの設置 UIターン支援窓口の設置 野菜等の特産品の加工、販売 町内の飲食店等を集めたグルメ広場の開催	旧阿戸保育園は、現在、地域の自主管理により、主に住民同士の交流の場として利用されている。引き続き積極的に活用し地域の連携機能をさらに充実させるとともに、東広島市と熊野町の道路上の分岐点に位置する地理的条件を生かして、道路利用者等に阿戸の歴史、自然や特産品等を紹介する場として情報発信機能を強化し、2つの機能を持つにぎわいの拠点づくりを推進する。	地域による自主管理を継続、発展させていくためには、自主財源の積極的な確保が重要であり、市所有施設での使用形態の規制緩和をお願いしつつ、収益性のある事業を実施していく必要がある。		あと徳育園管理運営委員会(連合町内会等)	阿戸地区
29	住民主体型生活支援訪問サービス事業【新規】 65歳以上の方を対象に、草取り、草刈り、ゴミ出し、窓ふき、電球の交換などを行う。	有償ボランティア団体を立ち上げ、生活上の困りごとを支援し、地域の助け合い活動を推進する。		住民主体型生活支援訪問サービス事業実施団体として申請(現在準備中) ・補助金10万円 ・事業実施に必要な備品の購入(プリンター、インク、草刈り機 など)	阿戸地区社会福祉協議会	阿戸地区
30	地域高齢者交流サロン運営事業【継続】 地域の高齢者であれば誰でも参加可能(高齢者以外の地域住民も参加可能) ・週1回(火曜日)定期的に開催 ・毎回40～50名程度参加 ・レクリエーション、歌、運動、情報交換等の多様な活動 活動場所:あと徳育園	地域住民のつながりや高齢者の介護予防の促進につなげる		サロンの補助金額 5万円	ボランティア団体「ひだまり」	阿戸地区